

# 「共創」で新たな価値を

4月に宇都宮大の第22代学長に就任した池田幸氏(65)。新型コロナウイルス感染症対策に立ち向かう中で、池田学長が目指す宇都宮大の姿とは何か。学長室で話を聞いた。【宇都宮大農学部3年・佐藤佑樹】

## 文理複眼の視点養う

### 宇都宮大・池田学長に聞く



池田学長は4月1日に同大であった学長就任会見で「宇都宮大が栃木県唯一の国立大として地域の知の拠点であり中核となるべく、今まで以上に学生を大切に、地域との連携を強めていきたい」と抱負を語った。その中で、特に「多様なステークホルダー(利害関係者)との共創」「文理複眼の視点」をスロ



池田学長(中央)と学生記者

「ガン」として掲げた。——「多様なステークホルダーとの共創」について詳しく聞かせた。

## 教育のデジタル化推進

——新型コロナウイルス感染症の取り組みについてどう考えていますか。

池田学長(以下) 地方の国立大としての宇都宮大の存在意義は何か。こう考えると「地域と共にあること」だと思ふ。そのキーワードが共創だ。「共創」とは、学生、保護者、教職員、地方自治体、教育機関、経済界、産業界などさまざまなステークホルダーが双方向的な関係で協働し、新たな価値を創造する概念のこと。



学生記者の問いに熱心に答える池田学長—いずれも学長室で

いけだ・つかさ 東京都生まれ、石川県育ち。1981年、東京工業部工業化学科卒業。90年、東京工業大生命理工学部助手、博士号取得。2002年、宇都宮大工学部教授。15年、同大理事・副学長。学位は工学博士。21年4月学長就任。趣味は、自転車と鉄道模型。

## 対面授業 尊さを知る

今年度、宇都宮大はオンラインとのハイブリッドで、対面での授業を再開した。それを受けて「今年こそは」と意気込んでいた。

### （学生こらむ）

てらざき・ゆうと 茨城県出身。宇都宮大地域デザイン科学部2年。趣味は登山、サイクリング。



しかし、実際はうまくいかなかった。新型コロナウイルスの影響である。感染拡大防止の観点から、入学式や、サークル活動の対面での新入生歓迎会は中止。ほとんどの授業も1年を通してオンラインとなり、大学にはめった

問い合わせは:tochigi-campal@mainichi.co.jp

「共創」の実現のためにどのような取り組みをされていますか。池田学長(以下) 地方の国立大としての宇都宮大の存在意義は何か。こう考えると「地域と共にあること」だと思ふ。そのキーワードが共創だ。「共創」とは、学生、保護者、教職員、地方自治体、教育機関、経済界、産業界などさまざまなステークホルダーが双方向的な関係で協働し、新たな価値を創造する概念のこと。

——「共創」の実現のためにどのような取り組みをされていますか。池田学長(以下) 地方の国立大としての宇都宮大の存在意義は何か。こう考えると「地域と共にあること」だと思ふ。そのキーワードが共創だ。「共創」とは、学生、保護者、教職員、地方自治体、教育機関、経済界、産業界などさまざまなステークホルダーが双方向的な関係で協働し、新たな価値を創造する概念のこと。

——「共創」の実現のためにどのような取り組みをされていますか。池田学長(以下) 地方の国立大としての宇都宮大の存在意義は何か。こう考えると「地域と共にあること」だと思ふ。そのキーワードが共創だ。「共創」とは、学生、保護者、教職員、地方自治体、教育機関、経済界、産業界などさまざまなステークホルダーが双方向的な関係で協働し、新たな価値を創造する概念のこと。

——「共創」の実現のためにどのような取り組みをされていますか。池田学長(以下) 地方の国立大としての宇都宮大の存在意義は何か。こう考えると「地域と共にあること」だと思ふ。そのキーワードが共創だ。「共創」とは、学生、保護者、教職員、地方自治体、教育機関、経済界、産業界などさまざまなステークホルダーが双方向的な関係で協働し、新たな価値を創造する概念のこと。

【寺崎裕人】

【編集部から】

【編集長内山勢】